

「寒冷蕁麻疹が改善したケース」

土橋 晃子（日本ホメオパシーセンター 東京総本部）

JPHMA 認定ホメオパス No. 0925

ZEN メソッド修得認定 No. 0325

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No. 0341

【要約】

約 10 年間、毎年寒い時期に脛に出てくる蕁麻疹が一度の相談会で改善した。右足の方が酷く、茶毒蛾に刺された跡のような形状で、大きさは縦 10cm、横 5cm。改善と同時に、10 年近く確執のあった同僚と良好なコミュニケーションが取れるようになった。

【主訴】

40 代 女性

- ① 脛の寒冷蕁麻疹
- ② 便秘と下痢の繰り返し
- ③ 乳腺の張り

【タイムライン】

出生時	逆子 仮死状態 股関節脱臼
2 歳	妹誕生
10 歳	メガネをかけからかわれる 心を閉ざす傾向に 親によその子と比較される
中学時代	テストは学年トップで通す カンニング疑惑を担任にかけられる いじめにあう
高校時代	ほぼ勉強 燃え尽き症候群 1 カ月間 担任や男性の先輩から容姿について酷い事をいわれる
大学時代	入学した途端目標失う 仲間と比較して落ち込む 卒論が苦痛
就職後	仕事一辺倒 職場の人間関係がうまくいかない インフルエンザワクチン接種 2 回
40 歳を過ぎてから	好きな事にも時間とエネルギーを費やすようになった

【手法とレメディー選択】

1回目 相談会 2022/11/11

- 1 : 422# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 9. 排便および大便 - 下痢 : - 有痛性の :
- 2 : 378# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 6. おくび - おくび(げっぷ) :
- 3 : 207# 1. 部位 - 1. 頭部 - 11. 口(および咽頭) - 咽頭(および食道) :
- 4 : 418# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 9. 排便および大便 - 便秘 :
- 5 : 127# 1. 部位 - 1. 頭部 - 8. 嗅覚 - 敏感(過敏, 不快なほど敏感) :
- 6 : 1510# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 蕁麻疹に似た :
- 7 : 287# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 脚 : - 前面(脛部) :
- 8 : 1063# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 反応性(生理的な) - 過剰な(アレルギー, など) :
- 9 : 1702# 4. 基調 - 1. 基調 - 2. 温度, 季節, 天候 - 寒冷から - 全般:(+好転 暖かさ全般) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Nux-v.	9	30	3	4	4	4	4	2	1	4	4
2	Phos.	9	27	2	4	4	3	4	1	4	3	2
3	Bell.	9	27	1	4	4	3	4	3	3	2	3
4	Sep.	9	26	2	4	3	3	4	3	3	2	2
5	Puls.	9	26	3	4	4	2	2	3	4	3	1
6	Sulf.	9	23	3	4	3	4	3	3	1	1	1
7	Calc.	9	23	1	3	3	4	2	4	4	1	1

→Nux-v Phos を選択

適用書

随時 : MT)サポート φ Cho-sai-n+ St-C-D 30C+ Antibiot-C-D 30C+ Apis 6C+ Con 6C+ Nat-c 6C

朝 : Phos LM01

昼 : Syph LM02+ Carc LM02

夜 : Nux-v LM03

【選択の根拠】

φ Cho-sai-n 皮膚湿疹、金属アレルギー、シックハウス症候群、便秘下痢

Phos

TBR 検索 2位

金属アレルギー、過敏

CK1591 結節や結節様の染み、また隆起した部分が茶色っぽく、あるいは紫色になっている脛の下部に

Syph LM02+ Carc LM02

膿んだ発疹+自分をよく知る為に、ほくろが多い

Nux-v LM03

TBR 検索 トップ

仕事に忙しい

RA971 痒い発疹

【結果】

2023/1/13

- | | |
|--------------|-------|
| ① 脛の寒冷蕁麻疹 | 大きく改善 |
| ② 便秘と下痢の繰り返し | 改善 |
| ③ 乳腺の張り | 改善 |

その他：

10年近く確執のあった同僚と、これまでは全くなかった良好なコミュニケーションが取れるようになった。きっかけはこちら側から明るい挨拶ができたことだった。

その後の相談会：

- 2023年9月末の相談会の時点では寒冷蕁麻疹の再発は無し。
- 毎年、夏にはスカートの裾が患部に触れて蕁麻疹が出ていたが、今年は出なかった。
- 職場では本当の自分をさらけ出す出来事を機に、普通に周り全体と喋れるようになった。チームには向かないのではないかと思っていたが自然体でふるまえるようになるという変化があった。

【考察】

早い改善が見られた要因として：

- ステロイド歴は殆どなく、ヒルロイドを使っていたので、薬害が浅かった。
- 健康的な食事に気を付けている。
- 同僚の女性が女性的なところが苦手だった。そして自分とは逆なのでコンプレックスかもと気付いたとの事。自分にも女性的になりたい気持ちがあると素直に受け止められたことで敵対心が消失し、わだかまりが消え、ストレスが減り、自己治癒力もアップしたのではないか。
- 健康、仕事、人生をより良くしていこうと自発的に取り組む強い気持ちがあった。